

朝霞から埼玉県を**変**える!

埼玉県議会議員

松井ひろし

令和2年(2020年)冬号 **県政報告**

発行 埼玉県議会自由民主党議員団
埼玉県議会議員 松井ひろし県政調査事務所



県議会12月定例会では一般質問を行いました。質問の概要は2頁に掲載しています。どうぞ一読ください。

今年度
所属委員会

県土都市整備委員会
人材育成・文化・スポーツ振興特別
委員会

自民党県議団が提案

貧困ビジネス規制条例を改正

厚生労働省が「無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準」を公布したことに伴い、「被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例(通称:貧困ビジネス規制条例)」の改正を私たち自民党県議団が提案、賛成多数で可決しました。

具体的には、2~4人の小規模施設も無料低額宿泊所と同等と規定し、居室の床面積を4畳半以上とすることを定めるなど、省令の基準を条例に規定したほか、施設改修が必要になる場合など施設運営に支障が生じないように、経過措置を設けています。

MATSUI HIROSHI

県議会12月定例会報告

災害復旧予算過去最大規模
約**246億1,474万円**
などを議決


県議会12月定例会は12月2日に開会し、一般会計補正予算約231億3,976万円などを議決し20日に閉会しました。

一般会計補正予算の内訳は、台風19号で被災した中小企業や農家、社会福祉施設などへの支援に約42億円、河川や道路などに約78億円、農地や林道など農林関係に約53億円を計上。特別会計(被災住宅の応急修理費や県営住宅の復旧工事費等)を含めると、災害復旧予算は約246億1,474万円となり、平成26年2月の大雪災害復旧予算に匹敵する最大規模となりました。

また、「2020東京オリンピック・パラリンピック」に地元の小中高生を招待するためのチケット購入費、約9万9千枚分の2億円余りも盛り込まれています。



台風第19号被害に係る対応状況

(1) 災害救助事業等の執行 ①住宅の応急修理 ②応急仮設住宅の供与 ③生活必需品の給与、避難所の設置等 ④被災者生活再建支援金の支給 など (被災者の生活・生業の再建に向けた対策パッケージ)	(2) 県税及び使用料・手数料の減免など ①個人事業税、不動産取得税の減免等 (納期限の延長3件、徴収の猶予1件) ②各種証明書など発行手数料等の減免(97項目)
(3) 既定予算を活用した応急対応 ①土砂崩れや決壊箇所等の応急復旧工事 ②西部崩落域大防止の応急対応工事 ③被害地域における感染症予防	【応急復旧工事例】新江川(東松山市古津地区)  被災時 → 応急復旧時
(4) 10月臨時会補正予算の対応 ①中小企業制度融資 → 11月8日(金)から受付を開始 ②農業近代化資金 → 10月31日(木)から融資枠を拡大	

台風第19号関連補正予算の概要

1 予算額	246億1,474万4千円
2 一般会計分[231億3,976万7千円]	
◆ 被害を受けた中小企業等への支援 [42億453万6千円]	◆ 公共施設等の災害復旧[189億3,523万1千円]
① 中小企業等の施設・設備等に対する支援	① 道路、河川、砂防施設、公園
② 農業用機械の修繕等に対する支援	② 農業用施設、森林管理道等
③ 旅行・宿泊料金の割引支援	③ 交通安全施設、社会教育施設等
④ 社会福祉施設の復旧支援	※繰越明許費の設定[103億7,969万3千円]
⑤ 肥料の購入等に対する支援	年度内完了が困難な工事について繰越明許費を設定
3 特別会計分[14億7,497万7千円]	
◆ 災害救助事業特別会計[12億5,060万円]	◆ 県営住宅事業特別会計[2億2,437万7千円]
災害救助法に基づく被災住宅応急修理経費負担	床上浸水の被害を受けた県営坂戸東坂戸住宅における復旧工事
※下線部は「被災者の生活・生業の再建に向けた対策パッケージ」を活用した国家補助事業	

MATSUI HIROSHI